

# 戦国時代の村上城主

# 不撓不屈の武将 本庄繁長に光

地元  
児童ら

## 功績発信へ「出陣式」



戦国時代の村上城主で、上杉謙信・景勝に仕えた武将本庄繁長の没後400年に当たる今年を盛り上げる記念行事の第1弾「出陣式」が21日、村上市門前の耕雲寺で開かれた。参加者は、若き日の繁長に扮した小学生による出陣号令などの式典や講演会を通して、郷土の英雄の功績を学んだ。

地元有志でつくる「本庄繁長公没400年祭実行委員会」が主催。市民ら約150人が参加した。

式典では、実行委の飯沼与三太委員長が「偉大な繁長公が地元ではあまり知られていないことを残念に思い、催しを企画した。今後もイベントを通じて全国に発信していきたい」とあいさつした。その後、村上小学校6年の竹部天真君(1)が出陣号令。「えいえい」と声を上げ、参加者が「おーおー」と応じた。竹部君は「きちんと号令をかけられて良かった。本庄繁長は知らなかったが、これから勉強したい」と話した。真剣でわら俵を切り落とす「截断演武」も披露された。

本庄繁長役の竹部大真君(中央)が出陣の号令をかけ盛り上がった「出陣式」―村上市門前

披露された。講演会では、講師を務めた市郷土資料館(おし)前館長の松

山勝彦さんが、闘争心の「武将だった」と説明した。強さや的確な状況判断が繁長の強さだったと分析。「八十数回の合戦で大敗はしなかった。波乱万丈、不撓不屈といった言葉が当てはまる愚直な武者だった」と説明した。実行委は今後も講演会やシンポジウムなどを開催。9月には繁長が眠る福島市の長栄寺へバスツアーも計画している。また、繁長の理解を深めるための会も設立。年会費2千円で、市民講座の受講料割引などの特典がある。問い合わせは実行委事務局の堀田亨さん、080(5432)6540。